

干潟環境教育プログラムの開発と 有明海における干潟ネットワークの構築

〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町17-1
城野ビルII 2階
電話:03-5614-2150
E-mail:info@wi-japan.org
https://japan.wetlands.org/ja/



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



干潟環境教育プログラムの様子

プログラムに参加した
子どもの人数

65人

荒尾干潟で確認された
生きもの

148種

今年度計画の達成度

70%

活動の全体目標に対する
達成度

60%

課題

干潟や干潟に生息するカニや貝などの底生生物(ベントス)について学習する機会が少なく、干潟の魅力や価値(水質浄化機能、水産資源など)が認識されていない。

目標

干潟での体験を中心とした環境教育プログラムを開発し、地域の人たちと共にプログラムを実施することで、長期的に干潟保全を担う次世代を育成する体制を構築する。

活動内容と成果

●荒尾干潟の近くで暮らしている子ども達を中心に、干潟環境教育プログラムを3回実施。計65名が参加。●地域の大人のために干潟やベントスに関する講座を実施し、干潟保全にかかわる人材を育成。干潟環境教育プ

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

既存の教材では、荒尾干潟にいる生きものが紹介されていない場合もあるため、見つけた生きものについての解説が難しかった。

■ 工夫した点

干潟の生きものの専門家の協力のもと調査を実施し、その結果を元に、荒尾干潟を代表する種を紹介する図鑑を作製した。



ログラムの指導者候補が2人生まれた。

●荒尾干潟の現状を把握するために専門家とともに、生物調査を実施。148種を確認。●荒尾干潟、東よか干潟、肥前鹿島干潟の3つのラムサール条約登録湿地間で情報交換及び活動等の協力がされた。有明海の干潟ネットワークが強化された。



荒尾干潟で確認された生きもの(マダガソ)

今後の展望

子ども達に体験を通して、干潟を感じる・知ってもらおうことが、将来に渡り干潟を保全していくためには重要である。継続して子どもたちに干潟の魅力や楽しみ方を伝え続けていけるよう、仕組みづくりをしていきたい。